

落合 範良

平政・公明党

小学校児童通学路の安全確保

質 危険な運転行為をした車が通学児童の列に突っ込み、死傷者が出るなどの悲惨なニュースを耳にするが、歩行者の安全を考えれば歩道と車道の区分されていない箇所は改善するべきではないか。

答 通学路の安全を確保する上で、歩車道を区分する境界ブロックの必要性は認識しているが、十分な歩道幅員を確保することができない用地では、設置は難しい。そのため、通学路の交通安全確保の取り組みとして、路側帯のカラー舗装や、車道への路面標示による注意喚起を行うなど、安全対策について検討したいと考えている。

有害駆除の担い手不足に対策が必要では

質 狩猟免許所持者の8割が60歳以上と有害駆除の担い手不足が懸念されるが、新規狩猟免許取得者に補助金を出し、担い手となる若い猟友会員を育成することを考えられないか。

答 市では、わな猟免許取得費用に対する助成制度を設けているが、県内では猟銃の狩猟免許取得費や銃所持許可手続費用、猟銃購入費用等への助成を行う市町村がふえてきており、県も補助を検討しているとの情報もある。情報を確認し、新規狩猟免許取得者に対する補助も含め、猟友会と協議しながら、担い手確保のための効果的な支援について検討したい。

その他の質問事項

○障がいのある子供の生活環境づくり

藤田 克美

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

森林・林業・木材産業の振興策は

質 市内の業者がJAS規格を取得したCLTを能代で活用すべき。また原木輸出の課題と見通しは。

答 CLTは、建築物・構築物の部材として幅広い活用が期待されるが、コスト高や販路・需要の拡大が課題となっている。木材は、県北3森林組合と15業者が昨年12月から小径木を中国に輸出し需要拡大を図っているが、為替レートや取引の継続性等の問題がある。いずれも、関係機関と連携し情報収集に努め、CLTの活用、原木輸出の動向を注視していく。

東北電力の空き容量問題

質 送電線工事には多額な工事費負担と時間的な制約が伴う。出力制御を受けても補償されず、固定買い取り価格も下がるため、計画を見直したり慎重になるのでは。

答 東北北部の基幹系統の制約を解消するため、連系を希望する複数の電気供給事業者が系統増強費用を共同負担することを前提とした電源接続案件募集プロセスが開始されている。これは系統容量を確保できていない風力発電の計画にとつては有効な手段であり、風力発電等の導入拡大により地域活性化を目指す本市にとって良い影響を与えるものと期待している。

その他の質問事項

○きみまち阪周辺エリアの整備は
○きみまちの里フェスティバル

佐藤 智一

希望

羽越新幹線整備に向けた取り組み

質 整備計画路線への格上げを期待される羽越新幹線であるが、中期事業として位置づけ早期に積極的な誘致活動及び住民への機運醸成に取り組むべきではないか。

答 新幹線の整備は、沿線県及び関係市町村全体の課題であり、本市は、奥羽新幹線及び羽越新幹線の整備の促進を図ることを目的とする秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会や、羽越新幹線の建設促進を目的とする羽越新幹線建設促進同盟会の会員になっているため、関係機関と協力して誘致活動や機運醸成に取り組んでいきたいと考えている。

小規模校のあり方

質 まずは小規模校とならぬよう対策が必要ではないか。小規模校学区へ居住者をふやすため、空き家活用や家賃補助、転居等に支援制度の考えは。

答 市内全域で人口減少と少子化が進む中、小規模校学区に限定して転居を促すことは難しい。住居に対する支援としては、能代山本圏域外から市内へ移住し、空き家を改修した場合は2分の1以内、上限100万円の助成をしているほか、空き家バンクを開設しており、いずれも空き家の有効活用と移住定住対策の施策として実施している。

その他の質問事項

○アクセス環境の現状をどう分析しているか
○多子世帯へ給食費や校外活動費等の補助は
○法定外公共物の修繕工事に補助の考えは